

自転車であちを 快適に走ろう!

さいたま市では平成22年9月25日から10月22日まで、複数の拠点で手軽に自転車を共同利用できる「コミュニティサイクル」の社会実験を行いました。これは、まちなかで便利に移動できる、新しいスタイルです。



▲「通勤だけでなく、日中も駅との往復で使っています。徒歩10分のところを3〜4分で移動できるので、時間短縮になって便利。電動アシスト付は、乗り心地や使い勝手がいいですね」と50代の女性。



▲「自転車が盗まれて困っていたところ、たまたま新都心駅でコミュニティサイクルのことを知りました。通勤や買物、先日はお墓参りにも利用しました。天気の良い日は気持ちいいです」と40代の男性。

移動時間を短く! 便利に! 自転車の共同利用で 「脱・自動車依存」に一步前進

「コミュニティサイクル」利用者アンケート結果

アンケート結果では、自動車の利用からの転換が約10%見られたり、移動時間の短縮や行動範囲の拡大が図られるなど、市の目指す「自動車に過度に依存しない交通体系の実現」に向けた取り組みへの成果が確認できました。

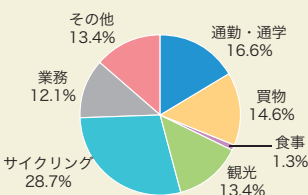
1. コミュニティサイクルを利用しなかった場合の移動手段は(複数回答可)

選択肢	構成比
1 徒歩	40.7%
2 電車	28.4%
3 バス	15.1%
4 自動車	10.5%
5 タクシー	3.9%
6 バイク	1.4%

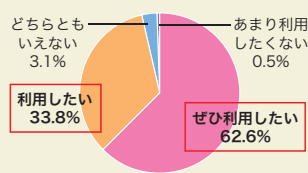
2. コミュニティサイクルの利用により、予定していた行動が変わりましたか(複数回答可)

選択肢	構成比
1 移動時間が短縮された	33.5%
2 行動範囲が広がった	28.8%
3 立寄り箇所が増えた	23.2%
4 予定より早く用事が終わった	9.7%
5 あまり変わらなかった	2.7%
6 その他	2.1%

3. 利用目的は何ですか?



4. 今後コミュニティサイクルを再度利用したいと思いますか?



▲大宮駅東口のサイクルポート。「通勤に重宝しています。バスの時間を気にしないのがいいです」と30代の女性。

▼大宮駅東口、さいたま新都心駅、大宮図書館、合併記念見沼公園、大宮盆栽美術館の5か所にサイクルポートを設置。自転車全100台のうち、10台は電動アシスト付自転車です。



▶実験では、会員登録をすると、会員証(ICカード)が発行され、すぐ利用できます。利用料金は、最初の1時間は無料で、以降1時間ごとに100円。読み取り装置にタッチして、自転車の受け取りと精算を行います。

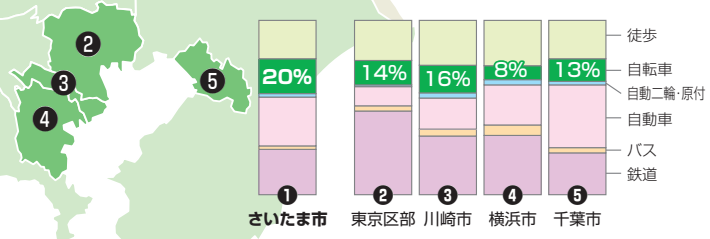


ピッ!

意外!? さいたま市の自転車人口は多かった!

地域別代表交通手段分担率 — 第5回東京都圏内パーソントリップ調査より

「どのような人が」「どのような目的や交通手段で」「どこからどこへ」移動したかを調査する「パーソントリップ調査」によると、自転車を利用する割合は、さいたま市が他市に比べて多いことがわかります。



問合せ
都市局 都市計画部 都市交通課
TEL 048-829-1053

この社会実験は、28日間にわたり実施。期間中の会員登録者389人の方々が、朝夕は通勤通学、昼は買物や会社の営業回りに活用したほか、周辺に点在する大宮盆栽美術館や氷川参道、鉄道博物館などの観光スポットを巡るなど、さまざまな用途での利用がありました。そして、アンケートでは利用者の約96%が「再度利用したい」と答えるなど、ニーズの高さを示しています。

パリの「ベリブ」をはじめ、ヨーロッパ各地で幅広く実施され、市民の大切な足となっているこの「コミュニティサイクル」。自動車依存からの転換を目指すものとして、今回の社会実験をもとに、ポートの設置数や運営手法などを整理し、今後の本格的な導入を検討します。

通勤や買物の足として
「脱・自動車依存」へ向けて

皆さんは、さいたま市の自転車人口が多いことを知っていますか? 自転車協会の統計によると、平成20年の自転車保有台数は、埼玉県では人口100人あたり76・9台となり、これは全国1位! また、同年の東京都圏内パーソントリップ調査では、さいたま市内での自転車利用率が20%と、これも他市と比べて多いことがわかります(左ページ図)。

さいたま市では昨秋、身近でエコな乗り物としても注目されている自転車のさらなる利用促進と、都心部で車に頼らず快適に移動できる仕組みづくりの一環として、登録すれば手軽に自転車を利用することができ「コミュニティサイクル」の社会実験を実施しました。レンタサイクルと異なるのは、サイクルポート(貸出拠点)の存在。大宮駅東口やさいたま新都心駅前など5か所に設置して、どのポートでも自由に貸出と返却ができるようにしたのです。

都心部を自転車でスイスイ!
手軽に貸出と返却ができる